

みなみまち協だより

第32号 令和7年3月15日

発行所：みなみまちづくり協議会
高山市岡本町1-18 南小学校内
TEL&FAX 34-0114

南地区の風景

西町に屋台はありませんが、陵王臺組(りょうおうたいくみ)という屋台組があります。立派な臺銘旗(たいめいき)があり、2010年頃台紋を新たに作られています。御巡幸にも参加します。

御巡幸とは日枝神社の主祭神大山咋神(おおやまくいのかみ)を神輿に乗せて祭礼地区を練り歩きます。獅子舞や雅楽、間鶏楽に神姿の警固など、総勢数百名の大行列で祭の雰囲気が高まります。本来は屋台も御巡幸に参加するのですが、移動が大変なために臺銘旗が替わりに参加します。

山王祭では16組の屋台組がありますが、屋台は12台です。残りは屋台を持たない旗組4組があります。(應龍台・南車台・黄鶴台・陵王台)

もうすぐ春の高山祭(山王祭)4月14日15日の季節が巡ってきます。

京の「雅び」の上に江戸の「粋」が重なり文化は索り流れる。「光る君へ」の次は「べらぼう」
高山の文化の上を外国人が通り過ぎて行く

桜

南校区でもインパウンド外国人観光客が引つ張るキャリーケースの車の音がガラガラと響いている。
二〇〇〇年頃からウナギ

上りにその数が増え、爆発的になった時にコロナ禍が来た。観光バブルは弾けたかと思ったが、今又円安などもあり復活して賑わしい。

長い鎖国が解けた時、日本に外国が一気に入ってきた。日本の近代化は外国、特に欧米先進国に学び、追いつけ追い越せで急激に進んだ。

政治、経済、軍事、文化に大変革が起った。人々の生活衣食住も、ものの見方や考え方も新しくなった。

そんな中で逆に緒外国が日本から学び、受け入れた文化がある。ジャポニズム。パリ万博などもありパリを中心に、日本の浮世絵や漆器陶器などの工芸品が売れた。

モネやゴッホやルノワールなど印象派の画家達は競って浮世絵の版画の美学を取り入れた。歴史に残る名画として今に残っている。

京の「雅び」の上に江戸の「粋」が重なり文化は索り流れる。「光る君へ」の次は「べらぼう」



令和六年度を振り返り

みなみまちづくり協議会 会長 保谷 卓也

日頃より、みなみまちづくり協議会の活動にご理解とご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

令和六年度は、みなみふれあい文化祭や防災研修、教養講座や子ども夏祭りなど、数多くの行事を実施し、多くの皆様にご参加いただきました。

今年度は、町内会長さん individually ヒアリングを行って、各町内会で抱えている問題点の掘り起こしをおこないました。

また、南地区在住の市議の皆さんや高校生も含めた「みなわく会議」を創設し、南地区のまちづくりについての「ご意見を聞く」こともできました。

最近頻発する地震を鑑み、防災グッズの斡旋販売にも取り組みました。この取り組みは来年度以降も続けていきたいと思っております。

来年度はみなみまちづくり協議会も設立十周年を越えます。十年を一つの節目として、これまでの十年よりさらに「まちづくり」に軸足を置いた活動にシフトしてまいりたいと考えております。

来年度は、これまで取り組んできました活動のほか、三つのテーマを重点とした活動を進めてまいりたいと考えます。

町内会運営の支援

役員の成り手不足に悩む町内会が増えています。みなみまち協としても、負担軽減の仕組みづくりや役割の見直しを進め、持続可能な町内会運営をサポートします。

町内会の魅力向上

まち協として準備できる町内会への加入メリットを整備していくことによりひとつずつメニュー化し、加入促進に役立てます。

地域課題の解決

新旧町内会長さんからのヒアリングやみなわく会議でいただいた皆様の声をもとに、地域の魅力づくりや防災対策、子育て・高齢者支援などの地域課題を具現化し、課題解決につなげ、より一層、みなみ地区の暮らしを支える活動に取り組めます。

来年度もみなみ地区の皆さまとともに、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



順調に進んだ町内活動補助!

地域づくり部長 丸谷 和俊

昨年同様、神社仏閣関係の行事・宴会の飲食費等町内活動費と認められない案件の報告がありました。

- ① 防犯灯電気料金の全額補助
- ② 情報提供による各町内の道路・側溝等の整備
- ③ 町内活動費の補助
- ④ みなわく会議の開催

①電気料金については、円安や物価高騰が続くことを考慮し予算を増額しておりましたが、ほぼ想定内の範囲内に収まり、全額補助が出来る模様です。

②道路・側溝等整備は、本年度予算千二百万円ですが、八箇所の工事を進めることが出来ました。工事が完了したのは三箇所。残りは次年度以降の予算で継続施工することとなります。

また今年度は地域枠外で予算を付けて戴き、側溝の改修をして頂きました。(写真参照)毎年却下されながらも六年ほど申請を続けてきた結果です。

③町内活動補助については、今年も八十万円で予算を立てておりましたが各町内からの実施報告が少なかつたため予算内で終了しました。

事業名	町内会数	総額
情報提供事業 ☆1	8	11,968,000
町内会活動補助	13	664,470
外灯補助事業 ☆2	20	1,300,000

☆1 情報提供事業は、市が修繕補修を実施し費用も市が負担します。町内会から提出された情報は、12町内会から40件ありました。

☆2 電力会社から各町内会への請求をみなみまち協で支払います。2~3月支払い分が未払いなので推定値となります。



枠外での側溝工事



災害に強いまちづくりをめざして

防災部長 池端 章

防災部はここ数年主に地区防
災計画策定に向けた研修を各町
内の自主防災リーダーの方々を
中心に進めております。
地区防災計画とは、災害時に
自分たちのまちを自分たちで守
るために、日頃から準備、役
割分担、訓練内容などについて
自分たちで作って行く行動計画
です。
たとえば自分の住んでいる所
の連絡体制の確立や、自分の町
内での危険箇所、避難所、避難
経路、また要配慮者への支援体
制など、これらを予め地区の住
民で話し合っ決めて共有してい
きます。これ
らのことを平
常時に訓練し
ておきたいで
も減災につな
げていくこと
です。
「災害大国
日本」ともい
われますが近
年は災害によ
る被害も大き
くなっており
ます。

月日	事業名	参加人数
5月15日	自主防災リーダー研修会	34
6月 9日	防災訓練	61
7月 5日	南小学校 防災教室(4年生親子)	120
7月 6日	「生きる」映画上映会	
7月10日	第1回 地区防災計画研修会	65
9月18日	第2回 地区防災計画研修会	57
10月16日	南小学校 防災教室(1・2・3年生)	146
10月31日	南小学校 防災教室(5年生)	99
11月29日	南小学校 防災教室(6年生)	59
10月16日	「風水害24」体験学習会	30
10月27日	ふれあい文化祭 防災イベント	31
11月12日	第3回 地区防災計画研修会	50
10月20日	普救救命講習会	9
1月22日	防災まとめの会	17
2月19日	防災士意見交換会	17
3月 2日	視察研修(豊田市防災学習センター)	19
年間	防災グッズ販売	
毎月	防災部役員会	

地震、大雨による土砂災害や
洪水による浸水、大雪による大
停電、渋滞等毎年どこかで災害
が発生しており、決して他人事
ではなく、この地方でも十分心
配されます。
このようなことから平常時か
ら災害意識を高く持っていただ
きたく思います。
それによって皆さんが心配な
く過ごせ、この地域の活性化が
図れますよう願う所です。
どうか皆様におかれましては
地区防災計画策定に向けてご協
力を賜りますようお願い申し上
げます。



アツい！暑い一年でした。

社会教育部長 遠藤 伸子

令和六年度の社会教育部
の事業もほぼ計画通り実行
する事ができ、たくさんの方
々にご協力いただきました。
た事、感謝申し上げます。
六月の長寿会事業「あん
ぜん・あんしん講座」から
始まり、二月の「みなみボ
ウリング大会」まで、本当
にたくさんの方の参加申込をい
ただきました。
六月に計画していたグラ
ウンドゴルフ大会が予備日
とも雨天で中止となり、申
込いただいた方には本当に
残念でした。次年度も計画
したいと思っておりますので、楽
しみにしていただきたいと思います。
教養講座の作品も、ふれ
あい文化祭で展示にご協力
いただきありがとうございます。
また、文化祭に華を添え
ることが出来ました。その
中で「華やかしめ飾り」は
昨年度までのプリザーブド
フラワーをアレンジしたもの
で、お正月のしめ飾りを作
り、いつもとは違った華やか
さが引き立っていました。
九月の「陣屋巡り」も回
を増すことに、参加者も増

事業分類	月日	事業名	参加人数
長寿会	6月20日	あんぜん・あんしん講座	25
長寿会	6月21日	あんぜん・あんしん講座	38
体育事業	6月30日	グラウンドゴルフ大会	中止
教養講座	7月19日	かごバッグ講座	15
教養講座	7月26日	ワイン講座	40
教養講座	8月23日	ビール講座	38
教養講座	9月 8日	障屋めぐり	13
教養講座	10月18日	華やかしめ飾り講座	17
教養講座	10月25日	寄せ植え講座	16
教養講座	12月13日	干支飾り作り教室	18
教養講座	1月24日	新春日本酒講座	28
体育行事	2月 9日	みなみボウリング大会	78

えました。今年は観光で訪れる外国
人も多く、近くでまち協監事の蒲
さんの説明を聞いている方もいらっ
しゃいました。
毎回好評のビール・ワイン・日本
酒講座では参加を楽しみにしている
方も多く、すぐに定員一杯になっ
てしまいます。
最近では自然災害や異常気象で不
安になる日が続いております。
みなみまち協の活動を通して、皆
様と出会い、絆を深めることができ
たら、そんな不安も少しは解消でき
るのではないかと思います。
一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

青少年部長 鍋島 晃典

夏の「子ども夏まつり」は、場所を体育館へ移し、綿棒アートを追加して、たくさんゲーム等で楽しんでいただきました。毎年好評のかき氷も、いちご・もも・みかん三種の生シロップで子ども達に喜んでいただきました。

たくさん参加していただき感謝しています。グラウンドでは、キッチンカーと共にみたらし団子やカレーパンも好評で、ありがとうございます。児童の皆さんから見た斜めや縦の関係性を大切に、対話のある人間関係を持続していけるよう、企画していきます。一年間協力していただきありがとうございます。

分類	月日	事業名	参加人数	回数
子ども体験教室	5月～8月	たのしいおやつづくり(前期)	11	4
	9月～1日	たのしいおやつづくり(後期)	8	5
	5月～12月	バドミントンで楽しく遊ぶ	18	13
	7月28日	高山区解きゲーム	11	
	8月 3日	タイダイ染Tシャツづくり	17	
	9月21日	紙飛行機を飛ばそう	8	
	11月16日	ドッジボールを楽しもう	12	1
	12月14日	親子正月花飾り作り教室	20	

わんわんふれあい	6月12日	わんわんふれあい	16	
	7月10日	親子防災教室	4	
	9月25日	赤保木公園で遊ぼう	12	
	10月31日	バランスボール	22	
	12月 4日	クリスマス会	19	
	2月14日	親子防災教室	12	

月日	事業名	参加人数	回数
4月18日	子ども会育成委員研修会	17	
8月 8日	子ども防災教室	47	
8月25日	子ども夏まつり	289	
10月27日	ふれあい文化祭 南小育友会支援		
3月	子ども会リーダー研修会		



あたたかい笑顔とご協力のもと

福祉部長 塚田 さち子

今年も皆様のおかげをもちまして福祉部としての事業を終えることが出来ました。南地区敬老会では対象となるたくさんの方にお越しいただき盛大に行うことができました。敬老会を行うにあたっては町内会、福祉部員の方々には計画の段階から当日まで大変お世話になりました。おかげさまで参加された皆様には楽しい思い出をたくさん作っていただけました。

古布回収は、古布をおよそ30cm角の大きさに裁断し、新しいタオルや石けんと共に箱詰めして高齢者福祉施設(豊楽園・新宮園・南風園)に寄付いたしました。ふれあい文化祭の「リサイクルバザー」ではたくさんお買い上げいただき感謝しております。皆様からいただいた代金は二円玉募金と一緒に寄付いたしました。近年不要品提供してくださる方々も少なくなってきたので来年度に向けて見直しを考慮しております。地域の皆様には一年間ご協力ありがとうございました。



	事業名	金額
収入	前年度繰越金	3,087
	一円玉募金	171,056
	リサイクルバザー売上	5,490
	利息	2
	収入計	179,635
寄付	社会福祉協議会	100,000
	歳末助け合い運動	70,000
	寄付計	170,000
	残金(来年度繰越)	9,635

みなみまち協 行事アルバム

10/20日 普通救命講習 9名参加
南小学校 多目的室



AEDの使用方法を手順に沿って丁寧に教えていただきました。

AEDが必要な場面になっても、慌てず落ち着いて対処できるように、毎年繰り返し受講していきたいという方もいました。

1/24金 新春日本酒講座 28名参加
辻ヶ森公民館



青森から山口までの8都県の日本酒を試飲しました。日本酒の原料になる水の硬度が日本酒に与える影響や日本酒流通の変化などの話を交えながら飲み比べました。お惣菜のつまみもよく合うのですが、チーズも結構合うことを発見しました。

2/9日 みなみボウリング大会 78名参加
プレイビー



プレイビーの20レーン貸切で開催しました。2歳未満から80歳を超える方まで、78名が参加しました。ストライクやスペアーを取るとお菓子など景品がもらえるのですが、今回はレベルが高くて1ゲーム終わりころには用意していた景品が無くなりそうで、慌てて調達に走りました。

2/14金 わくわくひろば (バッククッキング) 12名参加
辻ヶ森公民館



災害時などに役立つバッククッキングの実践を行いました。

白いご飯とパスタをバッククッキングで作り、「じゃがりこ」で作ったポテトサラダを添えました。お母さん方は、結構おいしいと言って完食されました。



高山市民憲章「衝立温故知新」の「志(こころざし)」

「憲章」草案の発出は南社教から」

市民憲章推進協議会会長 中村 健史

平成十三年、母校南小学校の校長としての初仕事が入学式でした。

体育館玄関正面南社会教育室の「衝立」は、意識していませんでした。

校舎新築工事のために社教室が仮校長室となって、「憲章」を意識しました。

市内各地で、諸会合の冒頭に市民憲章を朗唱しますが、子どもたちは？と。

「高山市史」「市民時報」「広報南社教縮刷版」を読み調べ、多くのことを再認識しました。



①起源は、南社教企劃委員会が創出した「草案」。富田與四郎委員長他によるものです。

国体で岐阜県が男女とも優勝した翌年、昭和四十一(一九六六)年二月です。

②全市社教、公民館連合等の取組みとして「憲章制定協議会」を立ち上げ、広く市民に意見募集し、四十二団体七個人から集まった文案・意見は四百項目に及びました。

③制定協議会は「起草委員会」を設置して意見集約し、「原案」を取りまとめました。

意見を大きく六つに分類し、「郷土愛」に関する事を前文に、あと五つを各条とし、各々に実践項目として三つを小書きしました。委員長は、当時の櫻の前(名田町)に在住の医師白川初太郎氏。「電氣を通すプラスチック」でノーベル賞受賞者の英樹博士は初太郎氏のご子息で南小、松倉中の卒業生です。

④原案は制定協議会で採択され、岩本市長に提案し、市長から議会に諮られて確定しました。

市制施行三十周年の昭和四十一(一九六六)年十一月一日を制定日として公表されました。

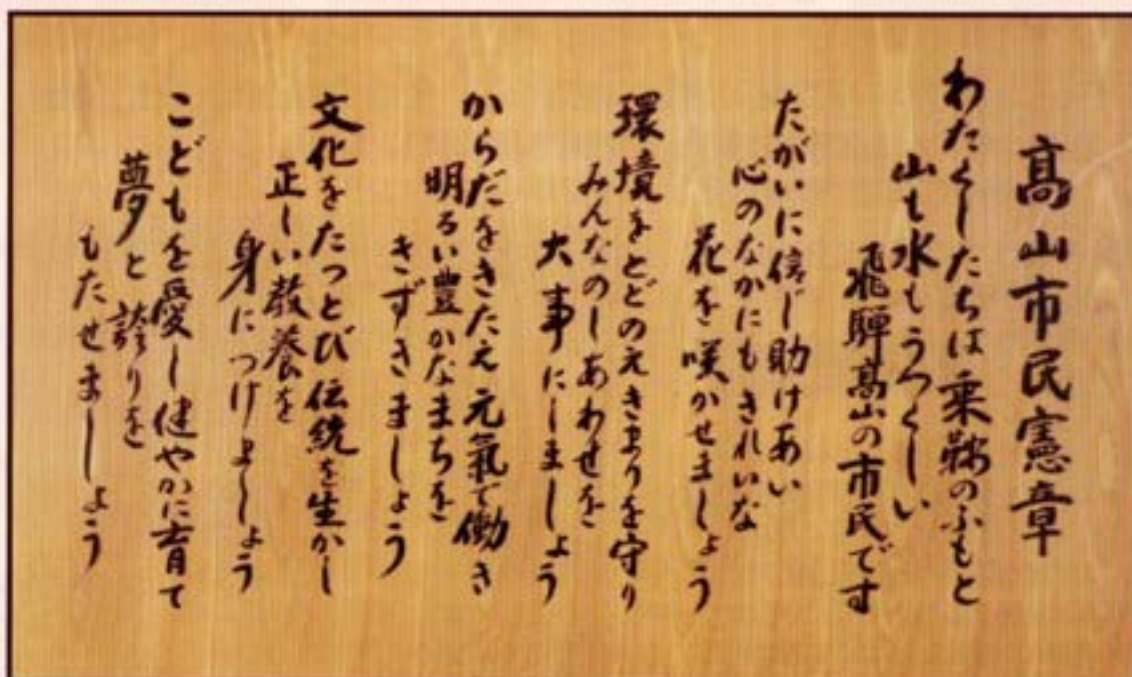
⑤忘れてならないのは「憂える一市民」と題する投稿文が出たことです。貴重な意見です。

『流行だからとか、制定委員会の名を印象づけるためにするという邪心あつての発案なら困る。そんなのなら反対する。画餅に終わることがなく制定後の効果を、そして未来像を考えて貰いたい。』

⑥高山市と隣接九町村との合併会議では市民憲章修正を求める意見も出ました。

私見ですが、「郷土愛」に関する前文は、現在日本一広い市域を「乗鞍のふもと」と表現するだけでは、やや言葉足らずではないかと考えています。

市民憲章は、今年で満五十九歳です。還暦を迎える令和八年度にむけ、たとえばこの点からあらためて高山市民憲章を考えてみるのが、「温故知新」ではないでしょうか。



「衝立温故知新」は、現南小体育館入口左の階段を上がって正面に在り、学校備品やまち協の非常災害備品棚を守るように鎮座しています。

「己未(つちのとひつじ)歳(弥生)」とは昭和五十四(一九七九)年三月です。

「松寿敬書」とある揮毫は川原町の富田豊治さん。「松寿」は、豊治さんの号で、南社教主事を永くお勤めいただきました。

「草案」発案の富田與四郎南校区社教委員長とともに憲章制定に、熱く強く尽力された方だったと思っております。川原町の富田明典様はお孫さんにあたります。過日お邪魔をして、いきさつ等を伺いました。「衝立」制作の経緯はご存じありませんでした。



そこで「衝立」制作の経緯等について皆様から情報提供をお願いしたいと思います。(〇〇様寄贈)とか(南社教作成)とか、知っていることや聞いたことのある話など、些細なことでも結構なので教えて頂きたいと思っております。

まち協事務局または中村までお知らせください。当方から出かけて行き、お話を伺いたいと思っております。

【連絡先】 みなみまちづくり協議会事務局 TEL 0577-34-0114
 市民憲章推進協議会会長 中村健史 TEL 0577-32-4898

■ 定期総会開催のお知らせ ■

日時：令和7年4月30日(水) 午後7時～ 会場：高山市民文化会館
 議案：令和6年度事業報告、令和6年度決算報告
 令和7年度事業計画、令和7年予算案など

みなみまちづくり協議会規約第12条第2項により総会は公開、また同第13条第1項により総会の構成員は運営委員、理事、部会員となっております。

みなみまちづくり協議会の定期総会は一般に公開しております。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

公式LINEアカウント 友だち登録のお願い



みなみまち協ではLINE公式アカウントを開設しており、行事の募集案内や南地区に関係する市からの情報などを随時発信しています。講座や教室の募集はチラシの回覧より早く知ることができ、先着順の応募には大変有利です。右のQRコードをスマートフォンで読み込むと、友だち登録ができます。ぜひ友だち登録をお願いします。



フォトコンテスト 募集期間延長のおしらせ

フォトコンテストの募集を行ってきましたが、募集期間や応募点数、対象等を変更いたしましたので、お知らせします。

【目的】

南地区のすばらしさを写真に切り取って紹介してください。日常の風景や地域の営みなど、どしどしご応募ください。スマートフォンでの撮影でも大丈夫です。原則としては、南地区内で3年以内に撮影された未公開の写真を募集します。1人3作品まで応募できます。

【募集期間】 令和7年4月1日～7月31日

応募方法などは、チラシをご覧ください。みなみまち協事務局までご一報ください。



前回フォトコンテスト作品

後編 編集

多かっただけです。今年も雪がね。こんな一生懸命に雪

またじをしたのは久しぶりです。歳をとっていく身には、雪またじが年を追うごとに辛くなっています。

今年はいんフルエンザが猛威を振るい、コロナ感染症もまだあります。そんな中で、風邪をひいて、寝込んでしまいましたが、発熱はしなくても風邪症状がある、かかりつけの医院へもなかなか行けず、薬の購入も大変です。咳が止まらなく、たまらず近所のかかりつけの医院へ通院しました。インフルエンザも風邪も同じような症状がでて、熱剤や鎮咳去痰薬などになりません。それらの薬が今不足していることが、健康を害する大きな原因です。

(神田 彰)